

主要経済指標等 (2012年)

- 人口 10万人
- GNI 総額 4.85億ドル
- GNI 一人あたり 4,220ドル
- 経済成長率 0.8%
- 失業率 -
- 対外債務残高 1.97億ドル
- 援助受取総額 (支出純額) 0.78億ドル
- D A C分類 低中所得国
- 世界銀行分類 iii / 高中所得国

出典) WDI (世界銀行) 等。詳細は解説参照

表-1 我が国の対トンガ援助形態別実績 (年度別)

(単位: 億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2009 年度	-	11.46	3.23(3.10)
2010 年度	-	9.32	3.05(2.95)
2011 年度	-	18.67	3.69(3.54)
2012 年度	-	16.76	3.11(2.92)
2013 年度	-	2.86	2.35
累 計	-	194.30	104.31(103.23)

※脚注参照

ミレニアム開発目標 (MDGs) 代表的な指標

	過去データ	最新データ
●目標1: 1日1.25ドル未満で生活する人々の割合	-	-
●目標2: 初等教育における純就学率	92.3%(1990)	98.9%(2006)
●目標3: 初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率 (男子を1とした時の女子の人数)	0.99人(1990)	0.96人(2007)
●目標4: 5歳未満児の死亡数 (1,000人あたり)	22.9人(1990)	12.8人(2012)
●目標5: 妊産婦の死亡数 (出生児10万人あたり)	67人(1990)	110人(2010)
●目標6: 15~49歳のHIV感染率 (100人あたりの年間新規感染者数の推定値)	-	-
●目標7: 改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合	98.6%(1990)	99.2%(2011)

出典) Millennium Development Indicators (The Official United Nations Site for the MDG Indicators)

トンガに対する我が国ODA概要

1. 概要

我が国はトンガの主要ドナー国であり、1973年の青年海外協力隊 (JOCV) 派遣以来、無償資金協力や技術協力を通じ、同国の開発に大きく寄与している。

2. 意義

国土が広大な地域に散らばり、国内市場が小さく、国際市場から地理的に遠いなど、太平洋島嶼国に共通する開発上の困難とともに様々な脆弱性を抱えており、これらの克服がトンガの社会・経済開発には不可欠。特にサイクロンや地震・津波などの自然災害のリスクが高いことから、災害対策も重要である。また、トンガは南太平洋唯一の王国であり、トンガ王室は我が国の皇室と非常に親密であるほか、文化・スポーツの交流が盛んであり、これまで国際場裡における我が国の立場を支持するなど、良好な二国間関係を築いており、トンガの自立的・持続的な発展の後押しと二国間関係強化のため、継続的な支援が重要である。

3. 基本方針

我が国は、「太平洋・島サミット」における支援方針等を踏まえ、環境保全や気候変動に対する支援をはじめとして、基礎的な社会サービスの向上やインフラ整備などの持続的な経済成長基盤の強化についても支援を行う。

4. 重点分野

- (1) 環境・気候変動: 自然災害のリスクを軽減するため、東日本大震災を踏まえた我が国の防災面での経験・技術・知見の活用を念頭においた支援を行う。また、再生可能エネルギーの導入を促進する「トンガ・エネルギー・ロードマップ」の取組への支援を行う。
- (2) 脆弱性の克服: 保健医療水準の向上のため、感染症予防強化などの保健医療サービスへの支援に重点を置く。教育分野については、基礎教育および職業訓練教育の質の向上並びにアクセス向上のため、研修やJICAボランティア等を通じた支援を行う。また、基幹産業である観光業、農林水産業等の産業振興の環境を整備するため、社会インフラの整備と維持管理、産業を担う人材育成についても支援を行う。

※注) 1. 年度の区分および金額は原則、円借款および無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2009年~2012年度の技術協力においては、日本全体の技術協力の実績であり、2013年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示している。
()内はJICAが実施している技術協力の実績および累計となっている。

トンガ

表-2 我が国の年度別・形態別実績詳細（表-1の詳細）

(単位：億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2011年度	なし	18.67億円 ・ バイオラ病院改善整備計画（第二次） （国債 2/2） (15.42) ・ ノン・プロジェクト無償(1件)(2.50) ・ 草の根・人間の安全保障無償(11件) (0.75)	
2012年度	なし	16.76億円 ・ マイクログリッドシステム導入計画 (15.73) ・ 草の根文化無償(1件) (0.09) ・ 草の根・人間の安全保障無償(10件) (0.93)	
2013年度	なし	2.86億円 ・ ノン・プロジェクト無償(1件)(2.00) ・ 草の根・人間の安全保障無償(10件) (0.86)	
2013年度 までの累計	なし	194.30億円	104.31億円(103.23億円) 研修員受入 813人 専門家派遣 153人

注) 1. 表-1 注釈同様

2. 技術協力においては、2011年度以降に開始され 2013年4月の時点で継続中の技術協力プロジェクト案件のみを掲載している。案件の [] 内は、協力期間。

表-3 我が国の対トンガ援助形態別実績 (OECD/DAC 報告基準)

(支出純額ベース、単位：百万ドル)

暦年	有償資金協力	無償資金協力	技術協力	合計
2009年	—	8.72	3.00	11.72
2010年	—	19.81	3.95	23.77
2011年	—	15.12	3.58	18.70
2012年	—	9.37	3.93	13.30
2013年	—	1.22	3.27	4.50
累計	—	151.60	92.80	244.40

出典) OECD/DAC

- 注) 1. 国際機関を通じた贈与については、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することとしている。また、OECD/DAC事務局の指摘に基づき、2011年には無償資金協力を計上する国際機関を通じた贈与の範囲を拡大した。()内は、国際機関を通じた贈与の実績(内数)。
2. 有償資金協力および無償資金協力は、これまでに交換公文で決定した約束額のうち当該暦年中に実際に供与された金額(有償資金協力については、トンガ側の返済金額を差し引いた金額)。
3. 有償資金協力の累計は、為替レートの変動によりマイナスになることがある。
4. 技術協力は、JICAによるもののほか、関係省庁および地方自治体による技術協力を含む。

表-4 諸外国の対トンガ経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2008年	オーストラリア 11.72	ニュージーランド 6.37	日本 3.75	米国 0.83	英国 0.50	3.75	23.52
2009年	オーストラリア 14.42	日本 11.72	ニュージーランド 7.18	米国 1.21	スペイン 0.07	11.72	34.68
2010年	日本 23.77	オーストラリア 20.91	ニュージーランド 11.42	米国 1.20	英国 0.15	23.77	57.61
2011年	オーストラリア 31.36	日本 18.70	ニュージーランド 14.70	米国 1.48	韓国 0.53	18.70	66.92
2012年	オーストラリア 29.65	ニュージーランド 19.19	日本 13.30	米国 1.00	韓国 0.18	13.30	63.35

出典) OECD/DAC

表-5 国際機関の対トンガ経済協力実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2008年	ADB Sp. Fund 1.21	EU Institutions 0.81	IDA 0.70	UNTA 0.27	—	—	2.99
2009年	GEF 1.89	IDA 1.80	ADB Sp. Fund 1.67	EU Institutions 0.76	—	—	6.12
2010年	IDA 7.43	ADB Sp. Fund 5.65	EU Institutions 1.62	—	—	—	14.70
2011年	IDA 12.43	EU Institutions 9.06	ADB Sp. Fund 7.08	WHO 0.61	UNDP 0.19	0.14	29.51
2012年	IDA 6.66	ADB Sp. Fund 3.85	EU Institutions 0.78	WHO 0.61	IFAD 0.41	0.21	12.52

出典) OECD/DAC

注) 順位は主要な国際機関についてのものを示している。

表-6 2013年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件

案 件 名
ピウラ小学校整備計画
ハアラウフリ村給水施設整備計画
フェレットア村給水施設整備計画
ホロンガ村給水施設整備計画
マイレフィヒ・シウイリクタブ・カレッジ男子寄宿舎整備計画
ツポウ・ハイスクール・ヌクヌク校整備計画
警察巡回車両整備施設改善計画
トゥフバイ小学校整備計画
ホファンガハウ・カレッジ中・高等学校整備計画
僻地における防災能力強化のための野外中継車整備計画

主なプロジェクト所在図

ポリネシア地域

